

反対を力に

シリーズ～福音となったイエス～

2026・5・24

最初の宣教旅行

- アンティオキア教会で聖霊が告げる

- 「彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が告げた。『さあ、バルナバとサウロをわたしのために選び出さなさい。わたしが前もって二人に決めておいた仕事に当たらせるために。』そこで、彼らは断食して祈り、二人の上に手を置いて出発させた。」13:2,3

- まずはバルナバの故郷で

- 「聖霊によって送り出されたバルナバとサウロは、セレウキアに下り、そこからキプロス島に向け船出し、サラミスに着くと、ユダヤ人の諸会堂で神の言葉を告げ知らせた。」4, 5

ピシディア州のアンティオキアで

•次に向かったのパウロの地元

- 「パウロとバルナバはペルゲから進んで、ピシディア州のアンティオキアに到着した。そして、安息日に会堂に入って席に着いた。」13:14

•パウロの説教

- 「あなたがたがモーセの律法では義とされえなかったのに、信じる者は皆、この方(イエス)によって義とされるのです。」13:38-9

•集会後には好意的な反応

- 「パウロとバルナバが会堂を出るとき、人々は次の安息日にも同じことを話してくれるように頼んだ。」
13:42

ユダヤ人たちの妨害

- 町中の人たちが会堂に押し寄せる
 - 「次の安息日になると、ほとんど町中の人々が主の言葉を聞こうとして集まって来た。」13:44
- この様子を見て反対するユダヤ人たち
 - 「しかし、ユダヤ人はこの群衆を見てひどくねたみ、口汚くののしって、パウロの話すことに反対した。」13:45
- なぜユダヤ人たちは態度を変えたのか
 - 異邦人たちが何の苦労もなく救いにあずかることが許せなかった！
 - 自分たちは特別だと思い上がっていた

異邦人に向かう宣言

• ユダヤ人たちの様子を見て

- 「そこで、パウロとバルナバは勇敢に語った。『神の言葉は、まずあなたがたに語られるはずでした。だがあなたがたはそれを拒み、自分自身を永遠の命を得るに値しない者になっている。見なさい、わたしたちは異邦人の方に行く。主はわたしたちにこう命じておられるからです。「わたしは、あなたを異邦人の光と定めた、あなたが、地の果てにまでも／救いをもたらすために。」13:46-47

• 異邦人に救いが届けられると預言されていた

- 「わたしはあなたを国々の光とし／わたしの救いを地の果てまで、もたらす者とする。」イザヤ49:6
- 「こうして、主の言葉はその地方全体に広まった。」49

町を追い出されるパウロたち

- 町のお偉いさんを抱き込んで二人を追い出す
 - 「ところが、ユダヤ人は、神をあがめる貴婦人たちや町のおもだった人々を扇動して、パウロとバルナバを迫害させ、その地方から二人を追い出した。」13:50
- 「足の塵を払い落とし」て次の町へ
 - 「それで、二人は彼らに対して足の塵を払い落とし、イコニオンに行った。」51
 - 「だれもあなたがたを迎え入れないなら、その町を出ていくとき、**彼らへの証しとして足についた埃を払い落としなさい。**」ルカ9:5(イエスの命令)

イコニオンで

- やはり会堂でユダヤ人に語る

- 「イコニオンでも同じように、パウロとバルナバはユダヤ人の会堂に入って話をしたが、**その結果、大勢のユダヤ人やギリシア人が信仰に入った。**」14:1

- ユダヤ人の反対が起こる

- 「ところが、信じようとしなないユダヤ人たちは、異邦人を扇動し、兄弟たちに対して悪意を抱かせた。」2

- めげずに宣教を続けた二人

- 「それでも、**二人はそこに長くとどまり、主を頼みとして勇敢に語った。主は彼らの手を通してしるしと不思議な業を行い、その恵みの言葉を証しされた**のである。」3

殺されそうになる

• 町を二分する騒ぎに

- 「町の人々は分裂し、ある者はユダヤ人の側に、ある者は使徒の側についた。」14:4

• 石を投げられそうになる

- 「異邦人とユダヤ人が、指導者と一緒になって **二人に乱暴を働き、石を投げつけようとした**とき、二人はこれに気づいて、リカオニア州の町であるリストラとデルベ、またその近くの地方に難を避けた。そして、そこでも福音を告げ知らせていた。」5-7

リストラで

•足の不自由な人を癒す

- 「パウロは彼を見つめ、いやされるのにふさわしい信仰があるのを認め、『自分の足でまっすぐに立ちなさい』と大声で言った。すると、その人は躍り上がって歩きだした。」14:9-10

•バルナバとパウロが神のように扱われる

- 群衆が「神々が人間の姿をとって、わたしたちのところにお降りになった」と叫んだ 11
- 「町の外にあったゼウスの神殿の祭司が、家の門の所まで雄牛数頭と花輪を運んで来て、群衆と一緒に二人にいけにえを献げようとした。」13

石で打たれる

- 二人は全力で止めさせようとする
 - 「バルナバとパウロはこのことを聞くと、服を裂いて群衆の中へ飛び込んで行き、叫んで言った。『皆さん、なぜ、こんなことをするのですか。わたしたちも、あなたがたと同じ人間にすぎません。』」14:14-15
- ユダヤ人たちに石で打たれる
 - 「ところが、ユダヤ人たちがアンティオキアとイコニオンからやって来て、群衆を抱き込み、パウロに石を投げつけ、死んでしまったものと思って、町の外へ引きずり出した。」19
 - 「しかし、弟子たちが周りを取り囲むと、パウロは起き上がって町に入ってしまった。」

反対を力に

•ユダヤ人による反対・妨害

ピシディア州のアンディオキア	ユダヤ人はこの群衆を見てひどくねたまみ、口汚くののしって、パウロの話すことに反対した。
イコニオン	異邦人とユダヤ人が、指導者と一緒になって二人に乱暴を働き、石を投げつけようとした
リストラ	ユダヤ人たちがアンティオキアとイコニオンからやって来て、群衆を抱き込み、パウロに石を投げつけ…

•めげない二人

- 必ずユダヤ人の会堂でユダヤ人たちに語る
- 「二人はそこに長くとどまり…勇敢に語った」
- 「起き上がって町に入って行った」

反対を力に

• ユダヤ人たちがアンティオキアとイコニオンを
ピシアン
イコニオン
リストラ

「その結果、大勢のユダヤ人や
ギリシア人が信仰に入った。」
「異邦人に信仰の門を開いてくだ
さったことを報告した。」14:27

ユダヤ人たちがアンティオキアとイコニオンか
を

ユダヤ人が反対したことによって
異邦人に福音が広まった！

- 「二人はそこで長くことまり…勇取に語つた」
- 「起き上がって町に入って行った」

パウロの心境

- 「召し」の確認(ダマスコで告げられた言葉)
 - 「すると、主は言われた。『行け。あの者は、**異邦人**や王たち、またイスラエルの子らにわたしの名を伝えるために、わたしが選んだ器である。**わたしの名のためにどんなに苦しまなくてはならないか**を、わたしは彼に示そう。』」9:15-16
- 葛藤
 - 同胞であるユダヤ人には反対されるが、異邦人たちは福音を受け入れる
 - パウロの「苦しみ」は肉体の痛みではなく、**心の痛み**だったのではないか